

(別添)

安全管理ワークショップ 開催要項

1 背景

日本赤十字社（以下日赤）は、国際赤十字・赤新月社連盟（以下連盟）や赤十字国際委員会（以下 ICRC）と協力し、国際活動における危機管理及び安全対策を強化しており、平成 30 年度からは、派遣前の必須研修として、「安全管理研修 II（旧危機管理研修 II）」を開催している。

令和 2 年度には「安全管理体制要綱」を改定し、日赤全体の危機管理体制の見直しを図るとともに、海外派遣を複数回経験した国際要員を対象に、ICRC・連盟及び日赤の安全管理の動向や、要員が経験した事例を共有し、その安全管理能力を進展させるため、初めて「安全管理ワークショップ」を開催した。

これらの取り組みについては、海外派遣を経験している国際要員により幅広く周知する必要がある。また要員が実際に経験した事案を共有し、最新の安全管理のノウハウを習熟する機会の創出も急がれている。

2 目的

本ワークショップでは、ICRC・連盟の安全管理に関する最新の動向を確認し、「安全管理体制要綱」の改定内容や強化・拡充された安全管理の知見を得るとともに、各々が蓄積した安全管理事例に関する経験や教訓を相互に共有する機会として、組織及び個人レベルの安全管理能力の強化を目指す。

3 日時

令和 3 年 12 月 17 日（金）09:30 ～ 16:30（予定）

4 ワークショップ方法

オンライン：Zoom 使用

5 主な内容

- ・国際赤十字の安全管理の動向
- ・ICRC・連盟、主要赤十字・赤新月社における連携・協力体制
- ・安全管理への対応事例、重大事案等に関する経験共有
（Seven Pillars of Security と国際活動での経験共有）（受講者発表）
- ・フィールドトリップと安全管理（視聴覚教材：Safe and Sound）
- ・危機管理、インシデント・マネジメント、重大事案対応（CIM）

(実際の事案での対応や得られた知見を共有)(受講者発表)

※受講者の職種、資格要件等により、研修内容が多少変更される可能性がある。

6 使用言語

日本語(一部の研修資料・教材は英語)

7 受講要件

以下の要件をすべて満たす赤十字施設に所属する国際要員。

- (1) 原則として、これまでに海外派遣を複数回経験している者
- (2) 今後海外における救援活動、復興支援事業又は開発協力事業への参加を志望する者

8 募集人数

35 名程度

※応募者多数の場合は平成 29 年度以前の安全管理研修Ⅱ(旧危機管理研修Ⅱ)の修了者を優先する。

9 修了証明書

本ワークショップ修了者には、後日証明書を発行する。

10 申込方法

応募フォーム([こちら](#))により令和3年10月22日(金)までに日本赤十字社国際部企画課安全管理担当あて申し込む。

11 留意事項

- (1) オンライン研修の参加に必要なインターネット環境は各自で確保すること。
- (2) 参加型としているためウェブカメラを利用できること。